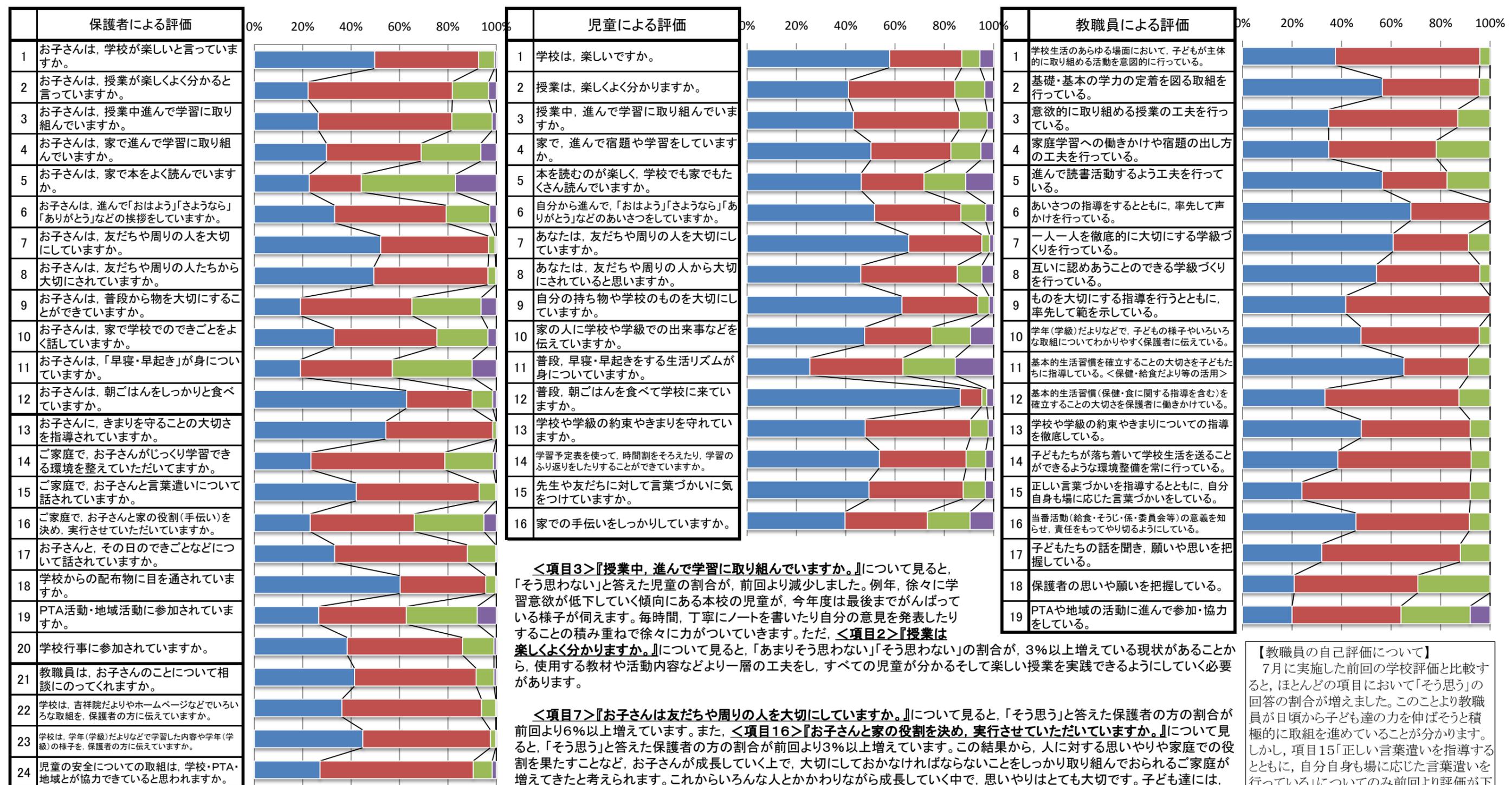


学校評価を 児童の豊かな学びと育ちへ

平成28年 2月実施 学校評価（保護者 児童 教職員）のまとめ

平素は、本校教育推進にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。2月中旬に実施しました学校評価の集計ができました。今回も多くのご保護者の方から回答をいただきました。回答数は420を超え、保護者の方々の教育に対する関心の高さ、お子さんを家庭・地域・学校が一体となって育てていきたいという思いを強く感じました。大変ありがたく、心よりお礼申し上げます。この学校評価を教育活動に生かし、児童一人ひとりの健やかな成長に向け取り組んでまいります。今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

グラフの見方(左から)
 そう思う
 だいたいそう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない



＜項目11＞『学校や学級の約束やきまりを守れていますか。』について見ると、「あまりそう思わない」の割合が少し減りました。本校には500名を超える児童が集団生活をしています。誰もが気持ちよく生活できるようにするためにルールが存在します。廊下の歩き方や遊び場所、丁寧な言葉遣いなどたくさんのルールをみんなで見守ることがよりよい生活の基盤となります。今後、より多くの児童が自らルールを守れるような姿勢を身につけていけるよう取り組んでいきたいです。

＜項目3＞『授業中、進んで学習に取り組んでいますか。』について見ると、「そう思わない」と答えた児童の割合が、前回より減少しました。例年、徐々に学習意欲が低下していく傾向にある本校の児童が、今年度は最後までがんばっている様子が伺えます。毎時間、丁寧にノートを書いたり自分の意見を発表したりすることの積み重ねで徐々に力がついていきます。ただ、＜項目2＞『授業は楽しくよく分かりますか。』について見ると、「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が、3%以上増えている現状があることから、使用する教材や活動内容などより一層の工夫をし、すべての児童が分かるそして楽しい授業を実践できるようにしていく必要があります。

＜項目7＞『お子さんは友だちや周りの人を大切にしていますか。』について見ると、「そう思う」と答えた保護者の方の割合が前回より6%以上増えています。また、＜項目16＞『お子さんと家の役割を決め、実行させていただいていますか。』について見ると、「そう思う」と答えた保護者の方の割合が前回より3%以上増えています。この結果から、人に対する思いやりや家庭での役割を果たすことなど、お子さんが成長していく上で、大切にしておかなければならないことをしっかり取り組んでおられるご家庭が増えてきたと考えられます。これからいろいろな人とかわりながら成長していく中で、思いやりはとても大切です。子ども達には、自分から困っている人に手を差し伸べられるような人間になってほしいと思います。しかし、＜項目9＞『お子さんは普段から物を大切にすることができていますか。』において「そう思わない」と答えた保護者の方の割合が3%以上増えています。保健室前に設けている落し物置き場には、いつも名前のないたくさんの方が置かれています。手袋やトレーナーなど必要だからおうちの人に買ってもらったものだと思います。今後は、友達や周りの人を大切にするとともに、自分の持ち物も大事に扱うことや持ち物に名前を書くことなど話題にさせていただければありがたいです。

【教職員の自己評価について】
 7月に実施した前回の学校評価と比較すると、ほとんどの項目において「そう思う」の回答の割合が増えました。このことより教職員が日頃から子ども達の力を伸ばそうと積極的に取組を進めていることが分かります。しかし、項目15「正しい言葉遣いを指導するとともに、自分自身も場に応じた言葉遣いを行っている」についてのみ前回より評価が下がりました。日常生活を送る上で、いろんな人とコミュニケーションをとることは必要不可欠です。その際、正しい言葉遣いは相手を思いやる心の表れでとなるので大切なことです。今後、思いやりのある優しい言葉を遣えるように指導していきたいと思えます。